

武庫南小だより

笑顔であいさつ 根気よく学び 思いやりの心をもつ

学校通信 12月号
令和3年12月1日

尼崎市立武庫南小学校
校長 小寺山 道久

『行事や校外学習を通して学んだこと』

寒さが一段と厳しくなり冬の到来を感じさせる毎日です。しかしながら元気にグラウンドで走り回っている子ども達を見ていると、子どもたちのエネルギーに感心するばかりです。

さて、11月は音楽会に始まり、5年生は3回の自然学校、6年生は修学旅行、その他の学年も校外学習があり、次から次へと行事が続きました。音楽会の保護者アンケートでは「子どもが、毎日家でも練習を頑張っていて、本番ではみんなが一つになった演奏に涙が出てきました。わが子の、そして学年の成長を感じました。」といった内容が多く、子ども達の気持ちが伝わるような素晴らしいものでした。6年生の修学旅行では、宿泊を通して友達の新しい発見がたくさんあったのではないのでしょうか。きっとクラスや学年の絆もより強くなったことと思います。5年生の自然学校ではツリーイングやグループでの自然探索、そしてアイススケートなど自分ができなかったことに挑戦したり、集団行動の大切さを学習したり多くのことを学びました。ほかの学年についても校外に出ることで、自分一人



楽しむのではなく、みんなが楽しむためにどうすべきかを考える大切なことを学習しました。

保護者の皆様には校外学習の際に、朝早くからのお弁当作りを始め様々な配慮をいただき感謝しております。きっとご家庭でもいろいろな話題で話が盛り上がったのではないのでしょうか。これからもお子様の成長と一緒に支えていただけるようにご協力をお願いいたします。

「国際交流をオンラインで行いました」

6年生が外国語の授業の一環で、尼崎市の友好都市である中国鞍山市の小学校とオンラインで交流しました。市の文化振興担当の支援を受け、市内でも初めての試みでした。武庫南小学校のみんなが尼崎市の紹介をし、鞍山市の小学校が書道や季節の行事や食事の紹介をしました。最後のお互いの質問コーナーが大変盛り上がり、お互いに通じたら拍手をしあって確認していました。尼崎市教育委員会から教育長、教育次長が交流の様子を見に来られ、子どもたちの相手に伝えようと必死になっている姿を見て感心されていました。